福岡市医師会方式脳血管障害地域連携パス

**3.　脳血管障害連携パス　オーバービューの根拠 （福岡方式）**

急性期病院から転院する患者の回復期リハビリテーション病院の在院期間を検討し、急性期病院退院時のｍRSをもとに軽症リハコース、標準リハコース、重症リハコースの暫定的な日数を設定した。急性期病院から回復期リハビリテーション病院へ転院した急性期脳梗塞患者354名について、急性期病院退院時ｍRSと回復期リハビリテーション病院在院期間の関係について分析を行った（図）。

脳梗塞患者が自宅へ復帰するまでに、急性期病院退院時のｍRS　１～2では約9割の患者が1～3ヵ月間、ｍRS 3では約7割の患者が2～4ヵ月間、ｍRS 4～5では約7割の患者が3ヵ月間以上の入院リハビリテーションを継続していた。以上の結果を参考に、脳血管障害連携パスのオーバービューを作成した。

**急性期病院退院時mRSと回復期在院期間**

**急性期病院退院時のmRS**

 回復期病院

 在院期間 **mRS1 mRS2 mRS3 mRS4 mRS5**

 **1ヶ月 10 17 11 18 13 69**

 **2ヶ月 5 19 11 29 12 76**

 **3ヶ月 0 7 14 35 9 65**

 **4ヶ月 0 3 6 59 19 87**

 **5ヶ月以上 1 3 5 25 23 57**

**354（人）**

**各mRSに占める割合**

 **15/16 43/49 31/47 119/166 51/76**

 **（93.8％） （88.8％） （66.0％） （71.7％） （67.1％）**

 福岡市医師会地域連携ワークショップ資料をもとに

急性期病院から回復期病院を経た354例の分析。

 2022年1月から2023年5月。

９

